



広報



市の鳥・シジウカラ

FUSSA



平成 25 年 (2013 年)

2月1日 No.872

発行 / 福生市 編集 / 企画財政部秘書広報課  
〒197-8501 福生市本町5  
☎ 042-551-1511 (市役所代表)  
毎月1日・15日発行

▼福生市2月の主なイベント▼

3日(日)	福生市伝統文化発表会
9日(土)	講演会と落語の集い
23日(土)	講演会「子どもの本のもつ力ー読書をするってどういうことー」

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事 2面確定申告・住民税の申告はお早めに！ 3面嘱託職員・パートタイマー募集 4面福生市地域福祉推進委員会委員を募集  
6面東日本大震災復興支援チャリティー名曲コンサート 7面国体NaVi 8面ふっさ環境フェスティバル実行委員・出展者募集

今年度郷土資料室に寄贈された頼原退蔵・尾形竹家旧蔵錦絵資料の中から、明治時代に発行された、木版錦絵と文章でニュースを伝える「新聞錦絵」を中心に約100点の展示をします。

新聞錦絵がまとまって見られる貴重な機会です。新聞錦絵を通じて、明治時代の世相や新しい時代の息吹を感じられる展示内容となっています。

郷土資料室特別展示

# 新聞錦絵

え ばら たい ぞう お が た つ と む  
- 頼原退蔵・尾形竹コレクション -

【日程】2月9日(土)～4月14日(日)

【時間】午前10時～午後5時

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

【問合せ】郷土資料室 ☎ 530・1120

①特別展記念講演「新聞錦絵 - 頼原退蔵・尾形竹コレクション - を中心に」

【日時】3月9日(土)午後2時～4時

②特別展関連講座「新聞錦絵の絵師」

【日時】3月16日(土)午後2時～3時30分

【場所】①②いずれも中央図書館2階

【定員】各回先着50人

【講師】安田吉人氏(中央学院大学非常勤講師)

【申込み】2月9日(土)から電話で郷土資料室 ☎ 530・1120 へ。



## ◆郷土資料室からのお知らせ

①古文書学習会「地域に伝わる歴史に触れる2」

市内に伝わる江戸時代から明治期にかけての古文書を読み、当時の支配体制や庶民生活を中心とした福生の歴史背景にせまります。

古文書や福生の歴史に興味のある方のご参加をお待ちしています。

【日時】〈第1回〉2月9日(土) 〈第2回〉2月16日(土)ともに午後2時～3時30分

【場所】中央図書館2階会議室

【対象】市内在住・在学・在勤の方

【定員】先着20人

【講師】高崎勇作氏(市文化財保護審議会会長)

【申込み】2月3日(日)から電話で郷土資料室

☎ 530・1120 へ。

※月曜日休館(月曜日が祝日の場合、翌火曜日休館)

②文化財・史跡ガイド養成講座聴講生の募集

郷土資料室では、市民がガイドとなって文化財などを案内するための「文化財・史跡ガイド養成講座」を実施しています。

今回は講座の最終回として、中級編(実践編)の講座を右表の日程で行います。興味関心のある方も1回から聴講できますので、お問い合わせください。

※見学会は、資料代と保険代がかかります。

【講師】鈴木章生氏(目白大学教授・元江戸東京博物館学芸員)・市職員ほか

【問合せ】郷土資料室 ☎ 530・1120

実施回	開催日時	学習会内容(予定)
第21回	2月21日(木) 午前10時30分～午後5時	見学会：中央区歴史・観光まちあるき(築地周辺)、中央区ボランティアとの意見交換会
第22回	2月28日(木) 午前10時30分～正午	実際に自分がガイドをするために
第23回	3月7日(木) 午前10時30分～正午	みんなで内容を充実させていくために
第24回	3月14日(木) 午前10時30分～正午	講座全体のまとめと今後の活動について

一つひとつ課題が解決され、ここまでたどり着くことができず、どこにも負けない高度医療機器を導入するなど医療環境を整え、今日の福生病院の土台を築いてくださった方々のお陰であると感じております。そのご努力に恥じぬよう、そして何より地域の皆さんの安心と健康のために、今後も病院スタッフと力を合わせ、「患者さんに信頼され親しまれる病院」の充実に努めてまいります。

今、公立病院は、医師不足など多くの課題を抱えております。公立福生病院も例外ではなく、多くの方々に心配いただくとともに、厳しくも貴重なご意見をいただいております。さまざまなお意見を受け止め、地域の皆さんに安心して暮らしてもらいたいという一心で、病院関係者全員が課題の解決に向けて取り組んでまいりました。その結果、徐々に医師が増え、現在では常勤医師も61名となりました。また、看護師も十分に確保でき、すべての病棟(316床)を稼働できるようになりました。透視医療についても専門医2名が就任され、本年4月再開に向け準備を進めております。

安心して暮らして いただくために

今、公立病院は、医師不足など多くの課題を抱えております。公立福生病院も例外ではなく、多くの方々に心配いただくとともに、厳しくも貴重なご意見をいただいております。さまざまなお意見を受け止め、地域の皆さんに安心して暮らしてもらいたいという一心で、病院関係者全員が課題の解決に向けて取り組んでまいりました。その結果、徐々に医師が増え、現在では常勤医師も61名となりました。また、看護師も十分に確保でき、すべての病棟(316床)を稼働できるようになりました。透視医療についても専門医2名が就任され、本年4月再開に向け準備を進めております。

福生市長 加藤育男

新春ウォーキング大会にて

【SPコード】専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。【問合せ】秘書広報課広報広聴係 ☎ 551・1529